

中川運河の環境と文化を観て歩こう PART3

ささしまライブ～松重閘門付近の歴史と環境を探ろう

平成28年11月16日(水) あおなみ線 ささしまライブ駅 AM10時:00集合で今回は40名の参加者でした。観て歩きの順番は、ささしまライブ24⇒堀留め船だまり⇒上宮神社⇒運河地蔵堂⇒小栗橋⇒鈴木バイオリン(株)⇒黒壁の町並み⇒観音堂⇒松重閘門・松重ポンプ所 約3.0Km

ささしまライブ24

笹島駅跡地を活用した大規模開発プロジェクトで、国際協力機構JICA中部国際センター、愛知大学名古屋キャンパス等々が立地し、せせらぎ公園も造作中であり、副都市化を呈している。

堀留め船溜まり

中川運河の舟運の収束点であったが、一部を埋め立て親水公園が造園されており、又舟運を復活させる為乗船場の設置を計画されている。

西宮神社 運河総鎮守・金毘羅社(上宮神社)

西宮神社は、疣を治す神として祀られている。名古屋城築城の石をこの地点で陸揚げをし加工された「名古屋城石切り場跡」の碑が残っている。中川運河が出来ると運河の守護神として金毘羅社が造られ、上宮神社とも呼ばれる様になった。

運河地蔵堂

微笑みをたたえたまん丸の優しい顔の地蔵が安置されている。水死者が多く、其の霊を慰める為に地元民の浄財により昭和10年に建立された。

小栗橋

この近くに、別名小栗街道と呼ばれた鎌倉街道が通って居た事から命名された。

鈴木バイオリン(株)

明治20年に国産第一号のバイオリンを製造した会社。

黒壁の町並み

太平洋戦争の空襲を免れた富田家と中村家の黒壁が町並みが現存している。

観音堂

運搬中に落ちた名古屋城築城の石を使った地蔵菩薩がある。此の地蔵は「子授け地蔵」で知られている。

露橋水処理センター

昭和8年11月に下水の簡易処理を開始。平成16年3月で処理を停止し、全面改築更新工事が行われている。完成すると処理水が空調用水、せせらぎ用水として「ささしまライブ24」に送水された後、中川運河に放流される計画になっている。

松重閘門

堀川と中川運河の水位差を調節し船を航行させる為に昭和7年に開通した。昭和51年に機能を停止、現在は優美な外観を持つ4基の塔は、名古屋の産業遺産として市の有形文化財、都市景観重要建築物等に指定され、永久保存となる。

松重ポンプ所

松重閘門の中川運河側に隣接しているポンプ所。中川口から取水した名古屋港の海水を堀川に排水する事に依り名古屋港→中川運河→堀川→名古屋港の水循環を行い、中川運河及び堀川の水質改善に大いに貢献している。

